

「第12回 地域医療を考える市民の集い」 開催報告

- 【テーマ】 「終活」進んでいますか？
～「人生会議」してみませんか？～
- 【日時】 令和元年12月21日（土）午前10時～11時30分
- 【場所】 津島市民病院 2階 講義室
- 【参加者】 48人
- 【進行】 海部地域医療サポーターの会
- 【主催】 海部地域の医療と健康を推進する協議会
海部地域医療サポーターの会
- 【挨拶】 津島市民病院 院長 神谷 里明 氏
- 【講演】 演題：『アドバンス・ケア・プランニング（ACP）』とは
講師：海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）
医療相談員 近藤剛弘 氏

総括：今回で12回目の開催となりました地域医療を考える市民の集いでは、海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）医療相談員の近藤剛弘氏より、人生の最終段階に受ける医療・ケア等について、本人が家族や医療者等と繰り返し話し合う取り組み「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」についてお話ししていただきました。

講師の近藤氏が所属する「海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）」は、地域の人々がいつまでも健やかに心豊かに暮らせるよう、医療と介護の関係者から相談を受け、在宅医療に必要なチームを組んだり、訪問診療などの調整をし、在宅医療が身近なものになるよう取り組んでいます。

多くの方が「自宅で介護を受けたい」「自宅で最期を迎えたい」と思っている一方で、自宅で亡くられる方は年々減少し、自分の希望どおりの最期を迎えるのが難しい状況です。自分の希望どおりの最期を迎えられるよう、命の危険が迫り、医療・ケアについて自分で考えたり望みを伝えたりすることができなくなった時のため、あらかじめ家族・医療関係者等と話し合うこと（ACP）の必要性を感じました。

講義を受けるまでは、「終活」「人生会議」＝「自分の死に方を決めること」というイメージがあり、テーマが重く、避けてきた所がありましたが、「最後まで自分らしい生き方を決めること」「死ぬまでの生き方を決めること」と捉えると柔軟に考えることができそうです。

最後になりますが、ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。
これからも皆さまに自分らしく健康に過ごしていただけるよう、イベントを企画していきます。



近藤剛弘 氏による講演 『アドバンス・ケア・プランニング（ACP）』とは

【海部地域医療サポーターの会の活動内容の紹介と挨拶】

海部地域医療サポーターの会は、海部地域の住民約 30 人で構成された団体で、海部地域の医療機関の全てを地域住民に共通の財産と考え、医療機関と住民の双方をサポートすることを目的とし、活動しています。

かかりつけ医を持つことの意義や重要性を伝えるための啓発用リーフレットや受診のため日頃から知っておきたい事項をまとめた「知って安心・受診の心得」のリーフレットを作成しました。

また、「ありがとうポスト」を作成し、あま市民病院・海南病院・津島市民病院、安藤病院・尾張温泉かにえ病院・偕行会リハビリテーション病院、七宝病院、津島中央病院・津島リハビリテーション病院、船入病院の全 10 病院に設置し、医療者に、患者さんやご家族の方からの感謝の気持ちを伝えるメッセージ（ありがとうカード）を届けています。



海部地域医療サポーターの会
活動内容の紹介



海部地域医療サポーターの会 作成
「知って安心・受診の心得」

「第12回 地域医療を考える市民の集い」アンケート結果

次回以降の開催に活かすため、アンケートを実施しました。その概要は次のとおりです。

【アンケート結果】 回収数：21名

問1 ご年齢について

(1) 10～19歳	0名	(2) 20～29歳	0名
(3) 30～39歳	1名	(4) 40～49歳	1名
(5) 50～59歳	2名	(6) 60～69歳	7名
(7) 70歳以上	10名		

問2 性別について

(1) 男性 5名	(2) 女性 16名
-----------	------------

問3 お住まいについて

(1) 愛西市	3名	(2) あま市	2名
(3) 大治町	1名	(4) 蟹江町	0名
(5) 津島市	9名	(6) 飛島村	0名
(7) 弥富市	3名	(8) 名古屋市	1名
(9) その他	1名 (稲沢市1)		

問4 「第12回 地域医療を考える市民の集い」に参加したきっかけについて

(1) 知人からの紹介	10名	(2) 病院に備え付けのリーフレット	5名
(3) 市民病院ホームページ	1名	(4) その他	5名
(市広報誌 (市政のひろば) を見て 4・家族に連れられて 1)			

問5 「講師の講演」の内容について

(1) よく理解できた	11名	(2) まあまあ理解できた	5名
(3) どちらでもない	0名	(4) あまり理解できなかった	0名
(5) 理解できなかった	0名	※無回答	5名

問6 地域医療について、聞きたい内容、ご意見・ご感想などがありましたらご記入ください。

(アンケート提出21名中5名からご意見をいただきました。漢字の誤字の修正以外、原文通り書き写しました)

***40歳代 女性 津島市**

この地域にどんな施設があるか具体的に知りたい。場所・規模・費用・空き状況・受けられるケアサービス内容など…。(いざ希望したときに入所できるのか?待ち期間がどれくらいあるのか?)

いざ自分や身内が必要となった場合に検討できるよう一覧(URLの紹介だけでも)があるとACPもより具体的になるのではないのでしょうか?

***60歳代 女性 津島市**

分かりやすい内容で勉強になりました。

医療は患者とともにあるということを考えるきっかけになりました。

***60歳代 女性 愛西市**

先回の質問(アンケート)に書いたことへの回答が欲しいです。

※いつの講義の質問か不明。

***50歳代 女性 津島市**

「知らなかった」と言うことがないよう、いつもアンテナを立てて生活しようと思いました。「知らなかった」のは自分のせい。「知らなかった」と人を責める質問より学びました。

***70歳代 女性 愛西市**

地域の医療と介護の連携等、今日のお話しの会をもっと多くやって頂きたいと思います。